

薬草園かわらばん

皆さ〜んちょっと覗いてみませんか？
草木に囲まれ心も体もリフレッシュ・・・



2018年
2月5日
第33号



フキ（キク科）

園内第三圃場の横、山崎川ぞいのフェンス下辺りを覗いてみて下さい。フキノトウ（写真）がチラリホラリと顔を見せています。本州以西に自生する雌雄異株の多年草で地下茎から花茎を出しこれを食用にします。花が終わった後に根茎から大型の葉を出し、この葉の葉柄が食用にするフキです。フキは中国では食用より薬用にするそうです。ヨーロッパではペスト・プルツ

（疫病草）と呼ばれ、医療用として用いられているようです。日本でも古くからフキノトウを咳止めに、葉・茎・根を消炎、止血の民間薬として利用してきました。ちなみにアイヌ語のコロボックル（矮小民族）はフキの葉の下の人という意味だそうです。

コーヒーノキ（アカネ科）

今、温室の中ではコーヒーの木に果実が見られます。この果実の形や色から別名コーヒーチェリーと呼ばれ果肉は甘く、中に種子が2ヶ入っており、これがコーヒー豆で世界中で嗜好飲料コーヒーとして愛飲されています。コーヒー属には約30種ほどありますが、アラビア、エチオピア産のアラビカ種とロブスタ種がよく用いられています。コーヒー豆（種子）にはカフェインのほか、タンニン、脂肪油なども含有しており、カフェインは少量であれば中枢神経に作用して精神安定効果や利尿効果のあることはよく知られていますね。

今、こんな草木が楽しめます。 待ってまーす！！